

さかいまち 議会だより

No. 208

令和6年
5月1日発行



交流人口・関係人口創出拠点施設（グランピング&キャンプ施設）完成



世界最高レベルの全天候型アーバンスポーツパーク 2nd 完成

目次

- ◆第1回定例会議決事項 P.2～P.4
- ◆一般質問 P.5～P.6
- ◆第1回臨時会議決事項 P.7
- ◆議会活動 P.8

令和6年第1回定例会

3月1日～3月7日（7日間の会期）

全議案・原案可決

開会初日(3月1日)本会議に提案された令和6年度境町一般会計及び5件の特別会計並びに企業会計は、予算特別委員会を設置し、同委員会に付託されました。

委員会は、3月5日に開催され、慎重に審議した結果、一般会計及び特別会計並びに企業会計につきましては、全会一致で可決すべきものと決定し、3月7日の本会議において委員長報告のとおり全会一致をもって可決され、新年度予算が成立しました。



予算特別委員会
飯田 進 委員長

令和6年度 会計別予算額

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年度増減率	
境町一般会計	147億8,700万円	145億8,600万円	1.4%	
特別会計	坂東市外2か町公平委員会	70万円	70万円	—
	境町住宅事業	5億5,370万円	5億4,840万円	1.0%
	境町国民健康保険事業	28億6,300万円	28億4,600万円	0.6%
	境町後期高齢者医療事業	6億3,760万円	5億7,320万円	11.2%
	境町介護保険事業	19億3,830万円	19億5,450万円	△0.8%
	境町公共下水道事業	0円	9億130万円	皆減
	境町農業集落排水事業	0円	2億4,260万円	皆減
合 計	207億8,030万円	216億5,270万円	△4.0%	

(公共下水道事業及び農業集落排水事業については、令和6年度より、企業会計へ移行。)

令和6年度 水道事業会計予算額

区 分	令和6年度	令和5年度	対前年度増減率
収益的収入	6億3,007万円	7億225万円	△10.3%
収益的支出	6億2,525万円	7億303万円	△11.1%
資本的収入	400万円	400万円	—
資本的支出	2億3,590万円	2億1,363万円	10.4%

(資本的収支の不足分については、過年度損益勘定留保資金等で補てんする。)

令和6年度 下水道事業会計予算額

区 分		令和6年度	令和5年度	対前年度増減率
収益的収入	公共下水道事業	6億7,913万円	0円	皆増
	農業集落排水事業	2億7,611万円	0円	皆増
収益的支出	公共下水道事業	6億7,913万円	0円	皆増
	農業集落排水事業	2億7,610万円	0円	皆増
資本的収入	公共下水道事業	1億4,509万円	0円	皆増
	農業集落排水事業	4,001万円	0円	皆増
資本的支出	公共下水道事業	3億2,576万円	0円	皆増
	農業集落排水事業	9,823万円	0円	皆増

(資本的収支の不足分については、引継現金等で補てんする。)

補正予算関係

令和5年度境町各種会計補正予算

区 分		予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(承認第2号)		281億6,968万円	28億4,938万円	310億1,906万円
一般会計(承認第3号)		310億1,906万円	504万円	310億2,410万円
一般会計(議案第21号)		310億2,410万円	13億6,212万円	323億8,622万円
特別会計	住宅事業(議案第22号)	5億5,547万円	18万円	5億5,565万円
	国民健康保険事業(議案第23号)	28億4,919万円	134万円	28億5,053万円
	後期高齢者医療事業(議案第24号)	5億7,964万円	661万円	5億8,625万円
	介護保険事業(議案第25号)	20億7,558万円	△2,557万円	20億5,001万円
	公共下水道事業(議案第26号)	8億8,273万円	△1億6,754万円	7億1,519万円
	農業集落排水事業(議案第27号)	2億4,946万円	29万円	2億4,975万円

各議案等審議結果

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (事業変更契約の締結について)	R6.3.1 即日原案承認
議案第1号	境町ドローンラボ・ドローンフィールドの設置及び管理に関する条例の制定について	R6.3.7 原案可決
議案第2号	境町農業者所得向上拠点施設の設置及び管理に関する条例の制定について	R6.3.7 原案可決
議案第3号	境町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について	R6.3.7 原案可決

議案番号	議案名	議決年月日 議決結果
議案 第4号	境町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第5号	境町職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第6号	境町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び境町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第7号	境町手数料徴収条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 1 即日原案可決
議案 第8号	境町医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第9号	境町介護保険条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第10号	境町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第11号	境町都市公園条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第12号	境町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第13号	境町再生資源物の屋外保管に関する条例を廃止する条例案について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第14号	境町アーバンスポーツパーク 2ndの指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第15号	境町文化村機能向上施設の指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第16号	境町ドローンラボ・ドローンフィールドの指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第17号	境町交流人口・関係人口創出拠点施設の指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第18号	境町農業者所得向上拠点施設の指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第19号	さかい河岸レストラン茶蔵の指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第20号	境町六次産業化施設の指定管理者の指定について	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第36号	町道路線の認定について (境町字藤浪・字上町東側・字松田地内 町道1821・1822・1823号線)	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
議案 第37号	町道路線の認定について (境町大字長井戸・大字猿山・大字蛇池地内 町道7047号線)	R 6 . 3 . 7 原 案 可 決
同意 第1号	境町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	R 6 . 3 . 1 即日原案可決
同意 第2号	境町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	R 6 . 3 . 1 即日原案可決
発議 第1号	境町議会予算特別委員会の設置について	R 6 . 3 . 1 即日原案可決

人事案件

○境町教育委員会の委員の任命について同意を求められ、全会一致で即日同意されました。

境町大字上小橋
青谷 洋治 氏



○境町固定資産評価審査委員会の委員の選任について同意を求められ、全会一致で即日同意されました。

境町大字若林
倉持 敏幸 氏



一般質問

1番 議席10番 田山 文雄 議員

- (1)認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて
- (2)献血の推進教育について

2番 議席3番 枝 史子 議員

- (1)町立図書館について

3番 議席1番 佐怒賀 康輔 議員

- (1)境町の公共交通の今後について

3人の議員が登壇しました

議席10番

田山 文雄 議員



認知症を発症しても安心して暮らせる社会づくりについて

Q 国では、2025年には高齢者の5人に一人が認知症になると推計しており、認知症が私たちにとって益々身近なものになっていきます。認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる社会の構築が必要であります。そのためにも認知症に対する正しい理解を深める広報活動の展開等があると思いますが、当町の取組について伺いたい。

A 当町では、これまでに、認知症の方や家族の応援者となる認知症サポーターとして、延べ4,000人を超える方を育成してまいりました。

また、令和元年度から、認知症サポーター受講修了者を対象に、認知症サポーターのステップアップ

講座を実施しており、この取組を継続することで認知症サポーターのレベルアップを支援してまいります。

また、65歳以上の希望者全員に、認知症の予防効果が期待される「さしま茶入りの葉酸サプリメント」を1年分配布させていただいております。

あわせて、スクリーニングについても、AIがだいたい開発されてきておりますので、研究しながら、認知症の方に寄り添った、さらには、認知症になった後も希望が持てるような施策の実施など、そんな境町を目指して努力をしてまいりたいと考えております。

(町長・福祉部長)

献血の推進教育について

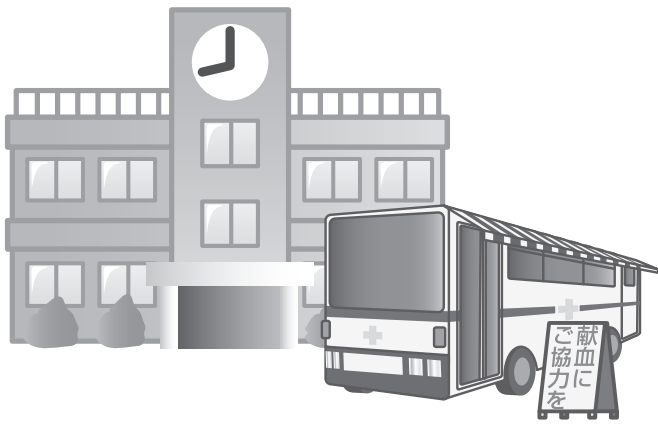
Q 少子・高齢化が進む中で若年層の献血者数が減少している結果が示されています。若い時に献血の大切さを教える事が将来的な献血推進につながります。当町の中学校における取組について伺いたい。

A 「経済財政運営と改革の基本方針2023」の中で、小中学校現場での献血推進活動が盛り込ま

れたことから、本年度より茨城県教育委員会を通じて、厚生労働省で作成された小学生を対象としたリーフレットや中学生を対象とした献血への理解を促すポスターを配布させていただいている状況でございます。

今後は、学校や関係機関と連携を図りながら、茨城県赤十字血液センターで行われている若年層向けの「献血セミナー」などの活用について検討していくとともに、献血の普及啓発に取り組んでまいりたいと考えております。

(教育次長)



議席3番

枝 史子 議員



町立図書館について

Q 町立図書館を望む声が上がっているが、町民に愛される図書館をつくるには、行政と町民の間でのきめ細やかな話し合いが必要であると考えます。これについて町の見解を聞きたい。

A 議員ご指摘の通りだと思います。長野県小布施町でも、設置のために委員会をつくり、館長を決めてから、設計・建設するなど、住民の皆さんが使いやすい図書館を建設し喜ばれております。当町でも、私が町長でいるならば、そのような進めたいと思っております。町がデザイン優先で勝手に図書館を作ることはありません。

補足ですが、建築家隈研吾先生

の作品が当町に多いものですから、他の市町村の方や、町民の方でも、維持費がかかるのではないかと、建築家の作品は建設費も高いのではないかと、考えている方も多いと思います。当町では、費用対効果を一番に考えているのと、隈研吾先生が境町を気にかけて下さっていることから、設計費も安く、建築後の維持コストも他の先生の施設とは比べ物にならないほど、かかっておりません。実際の駅の駅や芋カフェ、モンテネグロ会館など建設後、補修をしたことはありません。

また、図書館は必要な施設だと認識しておりますが、優先順位としては、給食センターが老朽化しているもので、こちらをまず優先課題として取り組みたいと考えております。今までの境町モデルによる公共施設の建設は、収益物件の設置であり、そのまま町の負担となる公共施設の設置は、今ある公共施設の見直しや修理後と考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

(町長)

議席1番

佐怒賀 康輔 議員



境町の公共交通の今後について

Q 東京行き高速バスについて、現在の利用者数や今後の取組について伺いたい。

A 東京行き高速バスの利用者数は、令和6年2月までの合計で、35、123名で、令和4年の同期と比較して11、926名増加しており、町内外における路線の認知度向上により着実に利用者が増加しております。

今後は、アーバンスポーツパークや隈研吾氏設計の施設、グランピング施設等を組み込んだパッケージプランを作成するなど、利用者増加に向けた取組を実施してまいります。

また、境町高速バスターミナル

内駐車場のスペース不足の問題については、第二駐車場への誘導看板を設置するなど、対応をしてみたいと考えております。

(町長・企画部長)

Q 自動運転バスについて、現在の利用状況やMiCa導入後のルート等、今後の取組について伺いたい。

A フランス共和国ナビヤ社製のARMA3台の利用状況につきましては、令和6年2月までの累計で、25,094名となっております。利用者からは、「買い物にいけないようになった。」「免許を返納しても生活できる見通しがあった。」等の意見があり公共交通の充実という効果が表れております。また、運行事業者の試算で運行開始後の経済効果は約28億円に上ると試算されております。

今後、エストニア共和国オーブテック社から導入したMiCa3台、増車されたARMA2台を加えた合計8台の自動運転バスを運行することにより、路線延伸、増便、夜間運行など、さらに利便性を高めてまいります。加えて、将

来的には、信号協調や緊急車両の検知等を着実に進めることで、レベル4での運行を行いたいと考えております。(町長・企画部長)

Q 新年度からオンデマンド交通の新規事業が計画されているが、その利用方法や対象地域、料金等について伺いたい。

A 町民が町内の病院や公共施設など様々な場所に行ける交通サービスとしてオンデマンド交通事業を予定しております。この利用方法につきましては、事前に予約システムをダウンロードしていただき、前日までの予約で、利用者宅から病院や公共施設などの目的地まで、送迎を行う予定です。また、対象地域につきましては、境地区以外の交通空白地域に居住する町民等を対象に、午前8時から午後5時30分の時間帯で運行を予定しております。

なお、料金等につきましては、当面の間無料とし、自動運転バスで対応が難しいエリアに関してこの事業も併用して交通の便の充実を図ってまいります。

(町長・企画部長)

令和6年第1回臨時会

3月15日（1日間の会期）

補正予算関係

区分	予算現額	補正額	補正後の金額
一般会計(議案第38号)	323億8,622万円	11億7,591万円	335億6,213万円

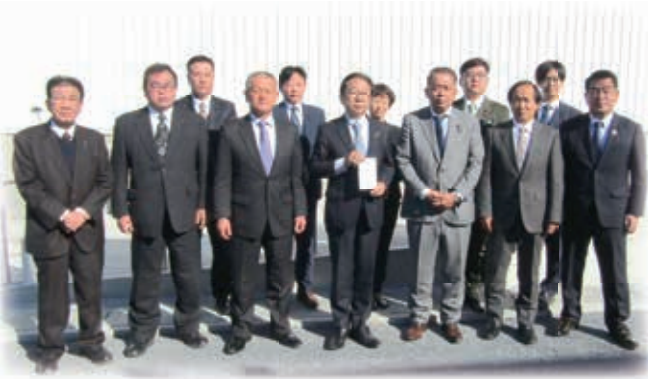
令和5年議会会期状況 (令和5年1月～令和5年12月)

区分	開催期間	本会議	常任委員会	特別委員会	休会日	計	傍聴者数
定例会	第1回 自 3月6日 至 3月10日	3	1	1	1	6	1
	第2回 自 6月13日 至 6月16日	3	1	0	0	4	13
	第3回 自 9月4日 至 9月8日	3	1	1	1	6	32
	第4回 自 12月4日 至 12月7日	3	1	0	0	4	16
臨時会	第1回 3月29日	1	—	—	—	1	0
	第2回 7月27日	1	—	—	—	1	0
	第3回 10月30日	1	—	—	—	1	0
合計		15	4	2	2	23	62

議会活動

能登地震義援金

能登半島地震の被災地支援のため、境町議会議員12名は、義援金12万円を公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団へ、1月30日寄託しました。義援金は石川県に設置される義援金配分委員会を通して被災された方々に届けられます。



境町ブランド研究開発拠点施設(S・Lab3rd)及び、境町地域産業研究開発拠点施設(S・Lab4th)完成式典(S・Lab4th)完成式典

1月30日、境町ブランド研究開発拠点施設(S・Lab3rd)及び、境町地域産業研究開発拠点施設(S・Lab4th)落成式に議員全員で参加してまいりました。施設の整備により、更なる地域の交流人口・観光人口の拡大や経済の活性化につながるものと考えております。



令和5年度町村議会議員自治研究会

2月9日、水戸プラザホテルにおいて県内町村議会議員及び事務局職員が参加し、自治研究会が開催されました。講師 星 浩(ジャーナリスト・ニュースキャスター)氏より「今後の政局・政治展望」について講演が行われ、当面する諸問題について研修してまいりました。



学校給食試食会

3月4日、学校給食を全議員で試食いたしました。「児童生徒の健やかな発育・発達及び健康増進のための学校給食」の試食会を通して、議会としても食の安全を見守ってまいります。



編集発行：茨城県境町議会広報編集委員会

委員長 染谷 直人 委員 飯田 進

副委員長 佐怒賀康輔 委員 岩崎 博

〒306-0495 境町391-1
TEL 0280-81-1316 FAX 0280-87-5873
<http://www.town.ibaraki-sakai.lg.jp>